

発言内容の今後の取扱い

令和4年10月27日
全員協議会資料

番号	1	氏名	てらさこ 寺迫 りん 麟	テーマ	学生の地域活動の現状と浜田市における地域交通
内容	地域活動に出て行く交通手段に困ることが多々あるという現状がある。これは、地域で活動、挑戦をしたいと考える学生の大きな障壁となっている。このような現状及び課題があるため、高速バスの価格を含めた利便性の向上による地域交通手段の確立、地域側が学生ボランティアに対して使える有償ボランティア制度などによる交通費や地域活動に対する金銭サポートを。				
肥後	交通機関を利用するにあたり不便なことの現状認識と、解決策等について全議員で勉強会などを行う。				
村木	全議員で公共交通に関する勉強会、研修会又は議連での対応としたい。				
大谷	まずは現状の把握が重要なので、総務文教委員会の所管事務調査で取り上げてみる。				
三浦	総務文教委員会で対応。既存の交付金のルールの中で対応できないかまず調査した上で、難しい場合には支援制度を検討する。				
沖田	地域交通をテーマに総務文教委員会で取り上げてはどうかと思う。以前、総務文教委員会で中山間地域や高齢者の移動手段の確保を議論してきた。改めて学生の移動手段についても検討すべきと思う。				
足立	総務文教委員会で、ボランティア活動の移動支援について協議する。				
村武	総務文教委員会で検討していただきたい。自分個人としても今後意見を言っていきたい。				
川上	総務文教委員会で取り上げ、活動内容も含め調査し対応を検討する。				
柳楽	委員会で検討していただきたい。(総務文教委員会)				
串崎	総務文教委員会で協議する。				
小川	総務文教委員会で対応。執行部に県大学生の移動手段の実態把握やニーズ調査の現状、行政として支援策等の検討状況について聞き、議会の考えを回答する。				
上野	改めて地域活動に協力していただいている学生への支援など、まちづくり推進委員会や地域協議会等でも取り上げていただき対応していきたい。12月定例会議の個人一般質問で取り上げたい。				
布施	具体的な提案があり、総務文教委員会で協議する。				
岡本	議会としては関わる団体の支援補助費の創設に加えてその中に学生交通費補助の提言をしては。				
芦谷	市長をして、県立大学地域連携室、大学サークルなどの窓口などと、市、ボランティア団体、まちづくりセンターなどとのネットワークをつくり、学生の地域参加の状況、その仕組みづくりを行うなど学生の地域参加を進める。交通の便が悪い場合など個別事情について、まちづくりセンター、市民団体、ボランティアなどの送迎、対応なども検討する。				
永見	各地域の公共交通の現状と学生さんの要望については、総務文教委員会で協議する。				
佐々木	大学側に制度としてはあるようだが、活用がかなり難しいとのことだった。県の制度と思われるので、地域で学生が活動するために、活用しやすい制度に、まずは県に図る必要があると思う。市の支援の検討はその後に。総務文教委員会の所管事務調査で問い、個人的にも大学、県に相談してみたい。				
田畑	地域の現状の調査を市が行うよう総務文教委員会から要望する				
西田	全市的なニーズ把握が必要。担当部署設置を委員会から提言。				
川神	浜田若者会議で積極的な提案を期待。総務文教委員会で支援策に対する検討を行うことが望ましい。				
牛尾	12月定例会議で取り上げたい。				

発言内容の今後の取扱い

番号	2		
氏名	ふでさか 筆坂	としゆき 寿之	テーマ ふるさと愛あふれる浜田へ
内容	地域の魅力を知る機会を浜田市民にも他市や他県の方にもアピールする必要がある。それに祭りを活用して他県や他市からも浜田に行きたいと思ってもらえるような浜田の魅力が詰まった一つの祭りや事業を行っては。		
肥後	総務文教委員会で地域の名所を再度掘り起こして、地域の歴史を学ぶ機会を増やし時代別に観光ルートの提案などができればよいと考える。		
村木	「ふるさと郷育」に関するものと思い、再度取り上げてはどうか。(予算の一般財源化を協議する。)		
大谷	執行部側へこのような意見があったことを議長名で伝え、情報共有を図る。		
三浦	産業建設委員会で対応。祭りのあり方をはじめ観光交流の促進施策について協議する。		
沖田	多岐にわたる提案だったと思う。総務文教、産業建設委員会で検討してみる。		
足立	多くの議員が文化伝統継承について一般質問でも取り上げているため、各議員が再度取り上げては。		
村武	自身で取り上げたい。		
川上	産業建設委員会で取り上げ、地域の祭りやイベントを調査するとともに広く情報を発する機会等を検討すべき。		
柳楽	委員会で検討していただきたい。(産業建設委員会)		
串崎	産業建設委員会で協議する。		
小川	産業経済部と観光交流課に情報提供は行う。行政が新たな祭りを企画すること等には疑義もあり一つの意見として聞き置く。		
上野	全議員で浜田の魅力づくりについて視察、研修を重ねる。		
布施	イベントや祭りの企画力や情報発信の弱さを指摘されたものであり、市民がそう感じていれば他県・他市には魅力は伝わらない。産業建設委員会で協議し、関係部署(観光協会も含む)に申し入れる。		
岡本	議会としては市民の参画を求めて資金的な費用を行政が担う形の官民一体の事業になるよう、調査研究し提言してはと考える。		
芦谷	市として、漁協、農協、商工会議所などに伝え、食、特産品をPRするイベントを充実させる。浜商祭、水産高校の特産品づくりとその販売活動などに対し、経済団体とともに支援する。		
永見	浜田の魅力を発信できる事業、他県や他市からの集客活動については、産業建設委員会で協議する。		
佐々木	割と大きな祭りの開催を想定する。予算や計画、そして実行など、労力も求められると思うが、まずはこれまで開催されてきた催しが再開されるよう、また、新たな催しが開催できるよう、各地域への働きかけを行う必要がある。強いて言えば、産業建設委員会として執行部に働きかけたらどうか。		
田畑	浜田の地域資源を洗い出し、多方面に周知するように行政と議会(総務文教委員会)で取り組む		
西田	魅力ある浜田を育むため、各分野議員全員で取り組む。		
川神	今までも「食」「文化」「歴史」等浜田市の誇る財産を活用する取組がされている。引き続き地元経済界、観光協会、行政と連携し地域特性を前面に出した計画を推進できるように会派でしっかり議論するのが望ましい。		
牛尾	浜田市で取り組んでいる内容をお知らせする。		

発言内容の今後の取扱い

番号	3	氏名	きたおか 北岡 ひろむ 泰睦	テーマ	小さい子どもを対象とした遊園地
内容	お魚センターの周辺に小さな子どもとその親をターゲットとした小さな遊園地をつくることを提案。一日中遊べる場所が浜田市にでき、市外や県内の家族が多く来る。話題性もあり、県外や市外からお魚センターに今まで来たことのなかった家族が来るようになる。お魚センターや市内で買物をする事で、商業がより発展し、また移住したい家族も増えるという流れで、浜田市にとってよい効果がある。				
肥後	来場者を増やすための意見として貴重なものと考えため、産業建設委員会で実現の可能性について協議する。				
村木	全議員で「お魚センター周辺の活性化」について勉強会、研修会又は議連で対応しては。				
大谷	市外・県外からの来場者アンケートの活用が重要である。来場者がどのような意見や指摘をしているか、その現状を把握することが重要なので所管事務調査で状況の把握を行う。				
三浦	産業建設委員会で政策テーマに取り上げた過去がある。再度検討する。				
沖田	産業建設委員会で検討してみる。				
足立	過去関連したことを産業建設委員会で議論しており、タイミングを見て再度産業建設委員会で議論してみてもどうか。				
村武	産業建設委員会、浜田港活性化として検討していただきたい。				
川上	産業建設委員会で必要な施設・効果などを検討し、予算はふるさと納税を活用するなど検討すべき。				
柳楽	委員会で検討していただきたい。(産業建設委員会)				
串崎	福祉環境委員会・産業建設委員会で協議する。				
小川	産業経済部、観光交流課に情報提供は行う。発表者の思い描く遊園地を作ることへの議会としての直接的関与は難しく、民間企業等へ期待することを回答する。				
上野	産業建設委員会、協働のまちづくり特別推進委員会で取り上げたい。				
布施	産業建設委員会でお魚市場周辺の魅力化と多世代の集客に必要なものなど（過去委員会で提言した未実施分）を再度協議し、執行部に働きかける。				
岡本	議会としては敷地内ステージあたりのスペースを整備して遊戯施設を考えてみても面白いと思うことから検討してみてもどうか。				
芦谷	市として、要望をお魚市場に伝え、子どもが楽しめる、親子で楽しめる施設を充実する、お魚市場の買い物での子どもたちや親子で楽しめる企画を立てる。				
永見	浜田漁港周辺の、賑わいの場づくりは、産業建設委員会で協議する。				
佐々木	せっかく県外からこられた方にもう少し長く滞在してもらおう仕掛けができないか、参考になった。強いて言うなら産業建設委員会として執行部に働きかけたらどうか。				
田畑	ふるさと寄附を財源として実施できるよう、産業建設委員会で協議する。				
西田	産業建設委員会で検討する。				
川神	お魚市場を核とした港の賑わい創出は重要課題と認識。一方、遊戯施設設置計画は民間活力に期待。				
牛尾	産業建設委員会で検討すべき。				

発言内容の今後の取扱い

番号	4	中高生のための「居場所」の必要性について
氏名	うらべ たいち 浦辺 太一	
内容	中高生のための居場所づくり活動に対する理解と支援を。浜田市地域子育て支援活動事業補助金のような補助金が、中高生のための居場所づくりにもつければ、事業も行いやすくなるのでは。まちづくりセンターを拠点とした居場所づくりを、地域の大人を巻き込み、構想を進めていきたい。	
肥後	総務文教委員会で提言された「居場所」づくりについて協議する。	
村木	「居場所」について総務文教委員会で協議し、川本町や江津市の活動を全議員で視察調査したい。	
大谷	現在、計画している事案があるので総務文教委員会で協議する。	
三浦	6と合わせて総務文教委員会で対応。	
沖田	まずは総務文教委員会で現状を把握するため青サポ、やまびこ学級など視察するなどして現状を把握した上で、総務文教委員会で検討してみる。	
足立	執行部より福屋の一部を賃貸してふれあい広場創設の話があり、賃貸は一時的なものでなく複数年になる計画。行政運営に影響を及ぼすため設置の可否も含めた執行部との議論を全員協議会でしては。	
村武	個人的に取り上げて進めていきたい。	
川上	総務文教委員会で取り上げ、現遊休施設の活用を含め検討すべき。意見聴取を行うのであれば中学生、高校生も対象と考えるべき。	
柳楽	委員会で検討していただきたい。(総務文教委員会)	
串崎	総務文教委員会で協議する。	
小川	総務文教委員会として受け止め、関心のある議員も含めて川本、都野津の「居場所」の視察を実施する。中高生の居場所の必要性について認識が共有化されれば、市有施設等や空き家、空き店舗等で活用可能なものの調査や主体的に関わる人材の把握等の方向が確認できればよい。	
上野	教育委員会や児童相談所から実態を把握し総務文教委員会で協議する。	
布施	旧・福屋施設を利活用すべきと考えるので、さらにニーズを捉え実施に向けた取り組みを総務文教委員会で協議する。	
岡本	議会として具体的な内容を聞いた上で必要であれば、その実現に向けて検討してはと考える。	
芦谷	現行の特別支援学校、特別支援学級のあり方が問われており、教育委員会をして検討するとともに、すべての児童生徒が普通教室で学べる環境や条件づくりについても検討する。	
永見	中高生の「居場所」づくり、他自治体においては活動されている。浜田市内での「居場所」づくりについては、総務文教委員会で協議する。	
佐々木	まちづくりセンターでの中高生の居場所づくりは「地域で子ども育てる視点」からもよい提案だが、センターの人材配置も必要で、モデル的に実施できたらと思う。強いて言うなら総務文教委員会で執行部に働きかけたらどうか。また、一般質問でも不登校対応の一環で、取り上げることも検討したい。	
田畑	総務文教委員会で提案のあった事業の進展をうかがう。	
西田	総務文教委員会で対応策を検討する。	
川神	「居場所」づくりは今までも議論もされ、現在は交流プラザの提案も検討されていると聞く。幅広い「居場所」づくりに関してはまずは総務文教委員会で取り扱うのが望ましい。	
牛尾	総務文教委員会で検討すべき。	

発言内容の今後の取扱い

番号	5	氏名	はたおか 畑岡	みさき 美咲	テーマ	古着の回収を再開してほしい
内容	古着の回収を再開し、回収した古着を地域の活動に役立てることができるのでは。古着のリメイク教室を実施しては。古着のリメイクを通して、捨ててしまう衣服を少しでも減らそうという思いを子どもたちに持ってもらう。商品化や利益ではなく、意識を変えるための活動として。					
肥後	福祉環境委員会で、古着回収再開が可能か協議する。					
村木	古着回収について、福祉環境委員会で、当該事業の廃止の経緯を確認し、協議したい。					
大谷	執行部側へこのような意見があったことを議長名で伝え、情報共有を図る。					
三浦	福祉環境委員会で対応。これまでの経緯の確認と、今後の支援策を検討する。					
沖田	福祉環境委員会で検討してみる。					
足立	純粋な気持ちによる考えを尊重し、福祉環境委員会で検討してみてもどうか					
村武	自分が所属している福祉環境委員会で取り上げて進めていきたい。					
川上	福祉環境委員会で取り上げ、システムとして可能性を検討すべき。					
柳楽	委員会で検討していただきたい。(福祉環境委員会)					
串崎	福祉環境委員会で協議する。					
小川	福祉環境委員会で提案内容について所管事務調査事項として扱うかを委員間で協議する。並行して執行部へは古着回収を止めた経緯、理由や古着のリユースの実現可能性についての考えを聞く。一定のまとめができた段階で回答する。					
上野	回収をやめた経緯を聞き、再開できないか。また、大手スーパーなど力を入れているところと連携できないか、一般質問に向け調査研究をする。					
布施	市民協議のまちづくりの新しいメニューになると思うので、古着回収を地域別に回収できるよう、「協働のまちづくり推進特別委員会」で調査研究をしていただきたい。					
岡本	回収古着の途上国の寄附事業が止まった理由について確認すべきである。議会としては、リユースのためその他の古着活用策はSDGsの観点からもよいことなので、古着活用について調査研究しては。					
芦谷	市としても、分別の基準、収集のあり方は時とともに見直されるべきものであり、11月から枝木、草などを袋に入れず束ねることで収集されるようになることから、これら排出や分別の基準などを見直すことが重要であり、環境清掃指導員制度を活用し、市民の声の反映や基準などを検討する体制をつくる。					
永見	回収した古着、リメイクの取組や再利用はSDGsにも貢献できる。福祉環境委員会で協議する。					
佐々木	生活の意識を変える一つの取組と感じた。地域活動の一環として取組めないかと思う。強いて言うなら福祉環境委員会として執行部に働きかけたらどうか。					
田畑	実施できるよう福祉環境委員会で協議。					
西田	福祉環境委員会で検討する。					
川神	民間の活力に期待したい					
牛尾	福祉環境委員会で検討すべき。					

発言内容の今後の取扱い

番号	6	氏名	はらだ しょうたろう 原田 将 太郎	テーマ	公共交通機関利用者により便利を
内容	公共交通機関を利用する方にとって、よりよい浜田をつくるために、浜田駅の近くに遅くまで開いている学習スペースを設置することを提案。現在の市の計画も、自分が思い描くものに近かった。新しい学習スペースの場づくりに浜高生を携わらせてほしい。				
肥後	全議員で最適な場所について協議する。				
村木	高校生を中心とした勉強スペース、列車等公共交通機関の待合スペースについて、総務文教委員会で協議願うとともに、駅前の活性化について、勉強会、研修会または議連での対応としたい。				
大谷	現在、計画している事案があるので総務文教委員会で協議する。				
三浦	4 と合わせて総務文教委員会で対応。				
沖田	1 のテーマと併せて総務文教委員会で検討してみる。				
足立	執行部より福屋の一部を賃貸してふれあい広場創設の話があり、賃貸は一時的なものでなく複数年になる計画。行政運営に影響を及ぼすため設置の可否も含めた執行部との議論を全員協議会でしては。				
村武	総務文教委員会でも取り上げていただきたいし、議会全体としても検討できればよい。				
川上	総務文教委員会で取り上げ、現浜田駅前付近における同様施設の計画とすり合わせを行うべき。内容検討には高校生、大学生の参加を求めて行う必要がある。				
柳楽	委員会で検討していただきたい。(総務文教委員会)				
串崎	総務文教委員会で協議する				
小川	総務文教委員会で受ける。①今後の設計にあたっては発言者のような要望も含め、高校生・大学生の意見を最大限取り入れ、細かい部分のレイアウトや備品整備に生かす仕組があって良いということを実行部に促す。②利用者がダイヤ改正による減便で JR 利用者が困っている実態を整理し、影響が大きいことを JR に伝え列車ダイヤの復活を要望すること、の 2 点についての執行部に伝えその回答を返す。				
上野	全議員で公共交通機関に関する勉強会を行う。				
布施	旧・福屋施設を利活用すべきと考えるので、さらにニーズを捉え実施に向けた取り組みを総務文教委員会で協議する。				
岡本	マナーを守るのであれば、若者が集いそのスペースを活用するための要望は、周辺の賑わい創出の観点からもあってもよいのでは。議会としては駅前計画を含めて調査研究してはと考える。				
芦谷	市として、福屋跡地、岩多屋跡地などの検討の参考とし、高校側、保護者の意見を聴く仕組みをつくる。				
永見	高校生・大学生のふれあいスペース、勉強スペースの確保については、総務文教委員会で協議する。				
佐々木	執行部から提案がなされている、駅前の交流スペースが実現できれば、ほぼ提案内容に沿えるのではないかと思う。強いて言うなら総務文教委員会として執行部に伝えたらどうか。				
田畑	総務文教委員会で提案のあった事業の進展をうかがう。				
西田	勉強・ふれ合いスペースについては総務文教委員会で検討する。				
川神	勉強スペース、ふれあいスペースに関しては学生のニーズの把握、望ましい場所、魅力的なメニュー等総務文教委員会でまずは検討。屋台関係に関しては民間活力に期待。				
牛尾	総務文教委員会で検討すべき。				

発言内容の今後の取扱い

番号	8	氏名	だて 伊達	あかね 緋音	テーマ	旧すくすく・旧Gクラブがこうなったらいいな
内容	<p>旧すくすくが公園になってほしい。大きな滑り台、シーソー、ブランコ、雲梯、のぼり棒、鉄棒、ジャングルジム、アスレチックなどの遊具がある公園がいい。</p> <p>旧Gクラブが駄菓子など置いてあるスーパーになってほしい。近所の高齢の方も、歩いて買物に行けたらいい運動になる。子どももお使いができる。</p>					
肥後	総務文教委員会で公園整備と維持管理の問題について協議する。					
村木	三浦議員が過去に請願で取り上げたため、再度取り上げてはどうか。					
大谷	執行部側へこのような意見があったことを議長名で伝え、情報共有を図る。					
三浦	同内容の請願が採択されているので、その経過を引き続き注視する。また、上記件については紹介議員となったことから、整備の方向性については執行部の動きを注視していきたい。					
沖田	福祉環境委員会で引き続き請願の進捗状況を確認する。					
足立	請願を採択しており、経過も含めて福祉環境委員会で調査してみてもどうか。					
村武	産業建設委員会で進めていただきたい。					
川上	総務文教委員会で取り上げ、跡地活用へ反映できるようにする。くわえて、予算措置が必要であればふるさと納税の活用もありうる。					
柳楽	同じような趣旨の請願が採択されているので、公園の活用については担当部局に要望を伝える。旧Gクラブの件は難しい問題だと思う。(福祉環境委員会から)					
串崎	福祉環境委員会・産業建設委員会で協議する。					
小川	産業建設委員会が受けて、公園に欲しい遊具の具体的な種類の要望があることを都市建設部に伝える。すくすく跡地の公園整備は市全体の公園整備計画の中で検討されており、その推移を見守ってもらいたい旨、回答する。駄菓子屋については提起を聞いた方々で意欲のある人に期待することも伝える。					
上野	以前取り上げたことがあり、その後の経過等見て、対応したい。					
布施	跡地利活用については、昨年も同様な意見もあり、請願も担当委員会で附帯意見をつけて採択し、本会議でも採択された。よって福祉環境委員会は、実施に向けて執行機関に報告を求めるものとする。					
岡本	議会としては地域住民の理解の上、適正使用を条件に執行部に対して提言があってもよいのでは。					
芦谷	市全体の公園整備の方針を立て、子どもの居場所、遊び場の整備について、地域、学校、保護者との意見交換の場をつくっておく。					
永見	昨年度も要望があった、各地域の現状を確認し、公園の設置は、産業建設委員会で協議する。					
佐々木	跡地利用については、地域住民の理解のもと、進めていけばと思う。強いて言うなら福祉環境委員会と産業建設委員会から執行部に働きかけたらどうか。					
田畑	福祉環境委員会で請願採択後の市の動きを確認する。Gクラブは民間のことなので難しい。					
西田	浜田市と松原地域で地域計画書を作成する。協働のまちづくり推進特別委員会と松原のまちづくり推進委員会で協議する。					
川神	この問題に関しては以前同様の請願もあり採択。引き続き跡地計画、浜田市の公園整備方針も含め福祉環境委員会及び産業建設委員会で議論が望ましい。					
牛尾	総務文教委員会で検討すべき。					

発言内容の今後の取扱い

番号	9	氏名	たむら 田村 あんゆ 安悠	テーマ	自助から共助・公助へ
内容	<p>もしものときの市の備えに加えて、市と企業で協定を結ぶことはできないか。大手企業だけでなく、身近にある店、ホームセンターなど、店舗によって提供可能品を分担することで、災害時に市全体が一つになり、いち早く助け合えることができるのでは。</p> <p>地域の防災意識が等しく高まるよう、小さい頃から災害を自分たちのこととして考えられるよう、小学生用の防災クロスロードを購入・配布し、授業の中でも活用しては。</p>				
肥後	協働のまちづくり推進特別委員会で、提言された問題点について協議する。				
村木	自身が関係団体(浜田市防災士連絡会)とも協議し、今後、一般質問で取り上げたい。				
大谷	執行部側へこのような意見があったことを議長名で伝え、情報共有を図る。				
三浦	総務文教委員会で対応。啓発活動を一層強めるよう働きかけるとともに、協定を結んでいる企業一覧(資料は先日作成済)の公表などの可否も協議する。				
沖田	総務文教委員会で検討する。				
足立	防災に関することと受け止めたので、総務文教委員会で協議してみてもどうか。				
村武	自分が所属している協働のまちづくり特別委員会の中で検討していきたい。個人的にも取り組みたい。				
川上	現在、協働のまちづくり推進特別委員会で検討されているものと理解する。				
柳楽	質問で取り上げたい。				
串崎	総務文教委員会で協議する				
小川	防災の観点で総務文教委員会が受け、執行部と情報共有をする。クロスロードゲームの活用状況の調査と有効性の検証を行い、出前講座のメニュー等で活用する方向で確認する。災害時の連携協定締結の現状と方向性もあわせて回答する。				
上野	研修会や訓練等においても呼びかけたい。				
布施	単独町内会を初め、まちづくり推進委員会でも必要と思われる。助成金対象の必須項目として取り組んでいく必要性を感じた。総務文教が特別委員会での調査・研究して提言してもらいたい。				
岡本	協働のまちづくり推進特別委員会でも調査中であるが、その中で提言をしていきたいと思う。				
芦谷	市が進める協働のまちづくりの柱に「災害時の共助」を掲げ、災害時の対応について地域をあげた考え方と計画、その啓発が重要であり、「事業所の地域貢献制度」の導入を検討するとともに、自治会の運営に地域にある事業所の参画を進める。				
永見	自助・共助について市民の地域防災意識の向上については、総務文教委員会で協議する。				
佐々木	現在、浜田市のも多くの企業と協定を結んでいるが、市民への情報提供が広く必要と感じた。また、さらなる企業との協定締結も。強いて言うなら総務文教委員会として執行部に働きかけたらどうか。				
田畑	自助・共助の比率を上げるための取組を総務文教委員会で協議。				
西田	総務文教委員会で検討する。				
川神	自主防災組織の立ち上げはとても重要な課題。内容から考えて「協働のまちづくり推進特別委員会」で対応も。				
牛尾	総務文教委員会で検討すべき。				

発言内容の今後の取扱い

番号	10	氏名	つつみ まき 堤 満喜	テーマ	文化部活動（合唱部門）の地域移行が提唱検討されている今、浜田市（石見地域）の新しい選択の模索について
内容	文化活動の練習会場の確保に苦慮している。経済的負担が軽減されるような支援を。指導者、指揮者の確保にも苦慮している。大人と子どもと一緒に合唱ができ、コンクールへ出場するための支援を。部活動の地域移行の検討の中身を市民は見えない。市民に分かりやすく知らせてほしい。新しい合唱の輪を築けるよう教育委員会とともに取り組んでいただきたい。				
肥後	総務文教委員会で頂いた内容を取り上げ、協議する。				
村木	部活動の地域移行、高校の魅力化について、総務文教委員会で協議願いたい。				
大谷	執行部側へこのような意見があったことを議長名で伝え、情報共有を図る。				
三浦	総務文教委員会で引き続き調査する（現在、所管事務調査で行っている）。また、個人としても一般質問で取り上げたこともあり、環境整備について取り組みたい。				
沖田	少子化の影響で少数の部活動は継続困難が予想される。提案の指導者の確保だけでなく多様なニーズに合った新たな活動の機会の充実は、これからの市内、中・高等学校の部活動において考えていかなければならない問題であると思うので総務文教委員会で検討してみる。				
足立	生涯学習・地域活動にもつながってくることであり、総務文教委員会で協議してみてもどうか。				
村武	個人的に取り組んでいきたい。				
川上	総務文教委員会で取り上げ検討すべき				
柳楽	委員会で検討していただきたい。（総務文教委員会）				
串崎	総務文教委員会で協議する。				
小川	総務文教委員会が受け、文化部活動（合唱部門）の地域移行についての考え方と、中高一般混声合唱団について教育委員会としての考え方を聞き、内容を回答する。				
上野	総務文教委員会で協議、調査する。				
布施	指摘があった練習場所の確保や指導者確保、活動資金補助を含め、総務文教委員会は関係部署に調査・研究を求めるものとする。				
岡本	議会としては要望を調査して、その必要性があるならば、場所や資金面について対応を求めるとともに、官民挙げての取り組みをすべきと考える。				
芦谷	市の文化行政は重要であり、石見音楽文化振興会が中高生への音楽指導など活動を拡充しており、施設利用の便宜供与、運営支援など行政として、音楽の振興の観点から対応する。				
永見	学校部活動に生徒が参加しやすい環境づくりについては、総務文教委員会で協議する。				
佐々木	今後の部活動全体の在り方を様々考えさせられる内容だった。教育委員会をはじめ、関係機関などで協議すべきと感じた。強いて言うなら総務文教委員会として執行部に働きかけたらどうか。				
田畑	高校部活動指導者の確保について、県教育委員会と協議できるよう総務文教委員会で調整。				
西田	全員協議会等で意見交換をする。				
川神	行政において特に合唱ただ活動に特化して政策を考えることは厳しい。ただ文化ホール使用料や練習環境の提供等は総務文教委員会で検討の余地はあるのではないかと。				
牛尾	総務文教委員会で検討すべき。				

第2回はまだ市民一日議会の反省点等について

第2回はまだ市民一日議会実施後の発言者・傍聴者アンケートに寄せられた意見及び議員の感想・改善点については以下のとおりです。

1 発言者・傍聴者アンケートに寄せられた意見

(1) 気づきや発見

【発言者】

- ・提案したことを前向きに捉えてもらえた。
- ・人それぞれいろいろの視点から考えることが大事だと分かった。よい経験になった。
- ・自分が思っていたことを他の人も思っていたのだということを知ることができた。
- ・前向きに考えてもらえた。
- ・高校生がすばらしかった。
- ・議員がすごく優しかった。
- ・若い方の積極的な意見を聞き驚いた。こういう機会を覚えてもらえたことに感謝。
- ・自分たちが行えていないことや考えが多くあることや、熱量のある人材がいることに気づけた。勉強になった。

【傍聴者】

- ・学生がしっかりした考えを持って発言をしていることにたのもしさを感じた。多くの人に動画等を通じて観てほしい。
- ・合唱部の現状について。
- ・自分の思っていること、気づいていること、全議員の方に発言できることは公平性を感じた。
- ・市民もつながって、思いをカタチにしていける可能性を感じた。
- ・若い方が浜田のことを真剣に考えている。
- ・子どもたちは、いろいろな考えがあり、知れてよかった。子どもたちの一日一日はとても貴重な時間だと思いうので、1日でも早く実現できることを願っている。
- ・市民の感覚に直結した課題提示がされている。

(2) ご意見・ご感想

【発言者】

- ・発言の場を設けてくださり、ありがとうございます。
- ・災害時応援協定を結んでいる企業や内容を一覧表にして各家庭や回覧板等で市民が目に見てわかるようにしてほしい。話してよかった。ありがとうございました。

- ・今回の自分たちの発言が浜田をよりよい地域にしていけるきっかけになればと思う。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。よい刺激をいただいた。普段わかることの少ない、身近な課題にも気づくことができました。

【傍聴者】

- ・公助、共助、自助は地域住民が一人一人、しっかりと議論が必要だと思う。いつの時代でも一番大事なことと思う。
- ・継続して開催されるべきだと思う。
- ・いろいろな提案が出たことをぜひ無理だと決めつけず、実現できるように市全体で取り組んでほしい。

(3) 議会への期待

【発言者】

- ・今回、発言をした人たちの意見を浜田市の活動に反映してほしい。
- ・本日の提案をぜひ議会で話し合っ、検討してほしい。
- ・とにかく小さな質問でも謙虚に受け止めて協議してほしい。
- ・実現できる方法を様々な形で願う。

【傍聴者】

- ・とてもよい取組だと思うため、もっと周知してほしい。
- ・今後もこのように様々な人の意見を聞く機会を議員の方にも浜田市の方にも持ってもらい、政策論議が様々な場で行われるよう、議員の方に頑張ってもらいたい。
- ・一日議会を続けてほしい。
- ・予算も大切だが、すべてを新しくする必要はなく、使えるものは使う。古タイヤを遊具にかえ、公園で使えるようにする。
- ・前回の提案について、どのように動いてどうなっているのか。情報発信、報告があるべきではないかと思う。

2 議員の感想・改善点

(1) 感じたこと、感想

肥後	<p>コロナ禍でも感染対策を施した上で開催し、市民の方が自らの思いや意見を発する場を設けられてよかった。</p> <p>地域の問題点や改善策を提案される場合は、貴重なものだと認識した。</p>
村木	<p>私生活の中で、疑問を持ち、課題として取り上げ、リサーチや調査等エビデンスを根拠として提言されたことに、改めて考えさせられるものがあった。</p> <p>9月定例議会最終日全員協議会の議長からの質問に対する指導や、私が今まで先輩議員から受けた質問の姿勢について、真摯に受け止める。</p> <p>特に、「大学生との公共交通」「ふるさと郷育の再発見」「中高生の居場所」「地域の防災に係る意識改革」「部活動の地域移行・高校の魅力化」への提言にとっても関心を持った。</p>
大谷	<p>おおむね発言者の意識は高く感心をする場面が多かった。特に高校生は質問に対する受け答え内容に意識の高さを感じた。</p>
三浦	<p>いずれの方のご意見も大変貴重なものだった。</p> <p>学生からのエントリーが多く嬉しかったことに加え、実践に基づく意見であったり、根拠を示した上でのものであったり、大変説得力のあるものに驚いた。このようにじっくりと意見を伺う機会は議会として今後も継続して設けていくべきと考える。</p>
沖田	<p>今回は学生が多く参加してくれたことはよかった。進行は問題なかったように思う。</p>
足立	<p>個人的に初めて参加させてもらったが、市民の熱い思いを直接聞くことができる、いい機会であると感じた。発言時間も、限られた時間内で発言者は内容をまとめられておられ、聞きやすく受け止めやすかった。人数的には10名程度が妥当と感じた。引き続き開催することで市民の中でも定着していくものと考え、継続開催を希望する。</p>
村武	<p>第2回目となり、まずは大きな問題がなく終了してよかった。</p> <p>今回も幅広い市民の方の参加がありよかった。特に小学生、高校生の意見は素晴らしく、自分の意見だけでなく、アンケートなど調査研究がしっかりとされており素晴らしいと感じた。今後こうした若い方の意見もしっかりと聴く場が必要だと思うが、市民一日議会としては幅広い意見を聴く場がよいと感じた。参加された方のご意見はどれも素晴らしく、私たち議員がこの意見をしっかりと今後につなげていきたいと感じた。</p>

川上	<p>今回の市民一日議会は和やかな中で行われたと感じている。</p> <p>発言者の皆さんが、訴えたいこと叶えてほしいことを要点よくまとめておられることに感心するとともに、明瞭に述べられており、私たち議員（特に私など）は見習いたいものと受け止めた。</p> <p>加えて、休憩時間中や終了後に、各議員が時間内にできなかった質問や浜田市の現状についての意見交換などを活発に行っていたことは、市民一日議会の趣旨が生かされており、今後なお一層このような機会を設けることが市議会にとって必要であると感じた。</p> <p>最後に、市民目線での発言であるが個々に重要な課題を含んでおり、これを生かす活動をどのように行い、どのように示すことができるかが市議会の課題であり、議員の働きにかかっていると認識し直した。</p>
柳楽	<p>児童・生徒をはじめとして若い世代の参加と、議員と違った柔軟な視点での発言に感動した。発言時間や質問時間もよかった。</p>
串崎	<p>全体に、質問内容もよく分かり、市民の声が聞けた。できることから、早急に対応するべき。</p>
小川	<p>発表者は10名程度が集中して聞くことができる人数としては適当と思われる。</p> <p>欠席の件について、応募者本人との意思の疎通や連絡がきちんと取れていたかの検証も必要。代理での対応の可否も含め整理しルール化も必要と考える。</p>
上野	<p>地域交通多くの課題があるなか、こうした声を聴くと改めて地域みんなで考えていくことが大切と感じた。</p>
布施	<p>昨年と比べ若い世代の人が参加されたと思う。</p> <p>発言も短い時間の中で要望だけでなく具体的な提案もあり、一つ一つが世代や地域、団体の方達の思いや課題が、多様にあると思った。</p> <p>広聴機能としては、多世代の意見を聞く場として重要だと感じている。</p>
岡本	<p>発言者に対して違和感を覚えることなくきくことができた。</p>
芦谷	<p>一日議会は広聴機能であり、これを議会がしても市長がしても双方の共有が重要である。いたずらに議会で抱え込むことなく、市長の執行権、執行権を動かす「議会力」をキチンと整理し、それを前提として「議会としての考え方、所見、提案への補強」などを示し、関係部署、関係機関に要請する。一日議会で出されたことについて、速やかに結論を得る、方向性を示す、ことに議会として腐心する。</p>
永見	<p>参加された方々の市に対しての思いや要望について理解できた。</p>

佐々木	<p>どこかの事例を参考にしたようなことではなく、自分個人の発想から提案がなされていることに感銘した。予算を伴う要望や提案もあったが、前向きな参考になる話だったと思う。</p> <p>また、高校生の受け答えの鋭さや的確な返答には少し驚いた。(執行部にも聞かせてあげたかった)提案されたものが少しでも実現できるように取り組みたいと感じた。</p>
田畑	よかった。
西田	市民の声はとても新鮮で直接議場で届けられることは有意義。お互いに真剣なので取組に一層の力が入る。マンネリにならないように継続していくことが重要。
川神	<p>自発的か他薦によるかは別にして、年齢的に若い世代の発表者が多かった点、堂々と発表し質問にも的確に答えていた点、大変感銘を受けた。社会に訴える機会が少ない若者に焦点を当てた一日議会も有効ではないかと感じている。そして間違いなく市民と議会との距離は近づいてきていると感じている。</p> <p>また当日参加困難ケースの対応として、オンライン参加、代読等運営のルールをさらに詰める必要がある。</p>
牛尾	学生など若い世代の参加があり、よかった。

(2) 気になった点、改善すべき点

肥後	<p>私が担当した来庁者への会場案内で問題はなかった。</p> <p>議会の進行はスムーズに進みよかった。</p> <p>発言者や傍聴者のアンケート結果を集計し、議員へ情報共有されるのか。</p>
村木	特にない。
大谷	<p>受付を行ったが来場者の申告だけでは本人かどうかの不安があった。あらかじめ送付した「発言案内状」を受付時に提示してもらうなど、受付時もしくは発言当日などどこかの時点で本人確認を実施しておくべきと感じた。本人の持参もしくは身分証明の写しの添付など考慮した方がよいと感じた。</p> <p>申込時の発言要旨については、例えば 400 字以上 800 字以下のように枠を設けたほうがよい。</p> <p>個人としての発言のみと要項に明記するなど改善が必要と感じた。</p>
三浦	議会で用いる言葉を必ずしも使う必要はないと思う。緊張が増すので工夫するとよい。

沖田	<p>発言時間は 5 分でもよいが質問時間はもう少し長くてもよいのではないかと思う。</p> <p>質問するよりテーマの内容について話し合うことをすることで発言者がテーマについて深く語れることが引き出せるのではと思った。</p>
足立	<p>議会広報広聴委員会の入念な下準備のもと全体的にスムーズな流れであったと感じており、感謝したい。</p> <p>気になった点といえば、浜田高校の生徒が参加されていることから浜田商業高校、浜田水産高校の生徒にも参加してもらえればよかったかなと思われる。</p> <p>参加されている年代はある程度ばらけていると思ったが、可能であれば子育て世代の女性の意見も聞きたかった。</p>
村武	<p>お一人の方が当日欠席となり、参加される方が 9 人となったことは残念であるが、こういうことは今後も想定されるので、仕方がないと思う。しかし、今後は、当選された方が当日参加していただけるように、申込等について検討する余地はあると感じている。</p> <p>事務局職員は当日のタイムスケジュールを持っていたが、当日の役割を持っている議会広報広聴委員は持っていたほうがよいと感じた。</p> <p>参加者の皆さんは、大体の流れは事前に理解はされていると思うが、緊張もあり不安なことはあると思う。事前説明は議場でなく、待機していただいている場所で実施してもよかったのではないかと感じた。</p>
川上	<p>全体の流れはスムーズに行われたものと感じているが、議員の質問時間は 5 分であり簡単明確な質問が望ましく感じられる場面もあった。</p>
柳楽	<p>特にない。</p>
串崎	<p>始めるとき、議場にて議会広報広聴委員長挨拶から始めるべき。</p>
小川	<p>全体的な進行についてはおおむね良好だったと思う。議員の質疑において聞きたい内容がわかりにくいものもあった。時間も限られており簡潔明瞭に努めたほうがよいと思う。</p>
上野	<p>流れはよかったと思う。</p>
布施	<p>ルールは守られており、現行でよいと思う。</p> <p>今後続けていくにしても「市民一日議会」のネーミングがよいのか、議論の余地はあると思う。</p>
岡本	<p>選考方式（事前に決めたこと変えない）と時間及び配分については問題ないと考える。</p>
芦谷	<p>なし。</p>

永見	なし。
佐々木	1件時間が少しオーバーした発表があったが、今後、制限できる配慮の策が何かあればと思う。
田畑	なし。
西田	第1回目よりスムーズだった。改善すべき点は特になし。
川神	議員からの質問内容は改めて慎重に考えるべきである。特に子どもたちに対してはその想いを尊重しながら、その発言に寄り添い、その内容が、魅力ある浜田市づくりに活用できればよいと思う。
牛尾	欠席の場合の対応を検討すべきである。